

第一回 まちづくり法人
国土交通大臣表彰
受賞団体の活動概要

平成24年5月

国土交通省都市局まちづくり推進課

《総 評》

これからの民間・公共施設を含む地域のまちづくりにおいては、まちづくり法人が中心となって事業収入を確保しながら、その経営能力やコミュニティのつながりを活かして、持続的にまちづくりを推進することが期待されています。

国土交通大臣賞を受賞した取り組みはどれも総合的に優れており、先導性・公益性・効果・継続性の観点から審査員の高い評価を得たものです。

今回の応募のあった取り組みは、地域の活性化における様々な活動に取り組んでいる先進的な取り組み、民間企業における意欲的な取り組み等何れも積極的に持続的なまちづくりを行っている優れたまちづくり法人であります。

厳正な審査の結果、三組の「国土交通大臣賞」を選定するとともに、僅差で国土交通大臣賞に届かなかった団体について審査委員会より「特別賞」を選定することとしました。惜しくも受賞に至らなかった取り組みにおいても、再度応募されるのを期待しています。

《まちづくり法人表彰等審査委員》

奥 野 信 宏 委員長

佐 藤 滋 委員

福 留 浩 二 委員

村 木 美 貴 委員

森 野 美 徳 委員

【まちの活性化・魅力創出部門】国土交通大臣賞

株式会社 飯田まちづくりカンパニー

◆所在地：長野県飯田市

◆活動概要：飯田市中心市街地は、昭和50年の中央自動車道開通を契機とした郊外ロードサイドへの大型店出店、平成7年の中心市街地大型商業施設の撤退を機に、商業集積の低下が進んだ。

しかし、平成13年以降段階的に完了してきた市街地再開発事業により複合的な都市機能を導入し、居住と消費の近接、交流を支える基盤整備がなされ、中心市街地のにぎわいが戻りつつある。

現在、市街地再開発事業の波及効果として中心市街地への投資意欲を持つ民間事業者が現れてきた機を活かし、市のシンボルであるりんご並木のにぎわいを創出するため、株式会社飯田まちづくりカンパニーが主体となって不動産の所有と利用の分離を図り、りんご並木周辺の空き店舗等と意欲ある民間事業者とをマッチングさせる事業を面的に実施して「人々の交流によるにぎわいの回復」を図っている。



市街地再開発事業エリアで開催した「丘のまちフェスティバル」

◆選定理由：株式会社 飯田まちづくりカンパニーにおいては、行政と連携したインフラを整備、未利用施設の活動拠点としての有効活用策の実践、まちづくり関係者のネットワーク化及び高齢者対策等、ハード・ソフトの両面に渡って先導的な発想や工夫をこらした活動に長きにわたり取り組んできたまちづくり会社として、先進的な取り組みであると高く評価されました。

【まちの安全・快適化部門】国土交通大臣賞

特定非営利活動法人 プラス・アーツ

◆所在地：大阪府大阪市

◆活動概要：阪神淡路大震災の10年が経った平成17年に、あらゆる分野に“+arts（プラス・アーツ）”の考え方を導入していこうと、特定非営利活動法人 プラス・アーツは設立された。教育、まちづくり、防災、福祉、環境、国際協力といった社会の既存の分野に対して“アート”そのものを持ち込むのではなく、アートの発想やアーティストの持つ既成概念に捉われない創造力を導入し、それらの分野が抱えている様々な課題や問題を解消し、再活性化させていくことを目指している。その活動の一つとして、「イザ！カエルキャラバン！」というファミリーで楽しく防災を学ぶイベントを展開している。



バケツリレープログラム

このイベントで開発された防災教育プログラムやノウハウを地域コミュニティでの防災活動や学校での防災教育にも提供している。

◆選定理由：特定非営利活動法人 プラス・アーツにおいては、大人から子供まで、幅広い層にわかりやすい工夫をこらした防災イベント等、まさにアートに着目しつつ災害に強いまちづくりを促進する活動がまちの安全・快適化を進めるうえで非常に目新しく、全国への汎用性が高い取り組みであると高く評価されました。

【まちづくりの担い手サポート部門】国土交通大臣賞

特定非営利活動法人 岡崎まち育てセンター・りた

◆所在地：愛知県岡崎市

◆活動概要：まちの様々な課題に対して、市民が自ら考え、想いを伝えて共有し、多様な主体と連携して実践することを促す「ファシリテーション」の手法を用いて、公共空間・都市施設の活性化や課題解決に取り組むまちづくり組織である。主にまちづくりワークショップや公共施設の指定管理を通じて、都市施設の計画・デザイン（ハードのデザイン）、都市施設の活用法の検討・実施（ソフトのデザイン）、市民団体・NPOの育成や連携促進（仕組みのデザイン）を行っている。



「人」と「まち」をつなぐ

◆選定理由：特定非営利活動法人 岡崎まち育てセンター・りたにおいては、多様な活動団体との連携及び団体間のマッチング支援を行っており、まちづくりの担い手をサポートするプラットフォームの機能を果たすなど、地域の活性化において市民と一体となって努力している独創性のある取り組みであると高く評価されました。

【まちの活性化・魅力創出部門】 特 別 賞

特定非営利活動法人 都市住宅とまちづくり研究会

◆所在地：東京都千代田区

◆活動概要：過疎化、少子・高齢化が進む神田地域に“住む人を呼び戻そう”と活動してきた有志によるまちづくりグループを母体として、高齢者や障害のある人にとっても、安全で快適、かつ個性ある都市住宅の供給と、暮らしやすい地域コミュニティの構築と再生をめざして、ひととひとの関係を大切にする「住まい」を核とした、コミュニティ・まちづくりに取り組んでいる。



コーポラティブハウス事業などにより整備された坂の上テラス(左)とこはす(右)

◆選定理由：特定非営利活動法人 都市住宅とまちづくり研究会においては、民間事業活動として地域活性化に取り組み、コーポラティブハウス事業や共同建替事業など住宅を通じたまちづくりは、密集市街地など様々な地域で参考になる取り組みであり、今後の活動に更に期待できることから委員会として特別に表彰することとしました。